

公益財団法人 仁科記念財団
第3回 運営会議・運営諮問委員会 議事次第

日 時：2023年6月26日（月）17:30~19:30
場 所：日本アイソトープ協会第3会議室
形 式：ハイブリッド（Zoomによるオンライン出席を併用）

出席者予定

会 議 室：梶田理事長、永長委員長、早野理事、藤川理事、安藤理事、上養理事、
荒船監事、松林事務局長

オンライン：中畑委員、藤澤委員、松尾委員、村尾委員、森委員、矢野理事、家理事、
須藤理事、十倉理事、伊藤監事、秋光評議員、山田評議員、西村顧問、
山崎敏光

欠 席：櫻井委員、佐々木理事、初田理事、永宮評議員

議長：理事長

1. 開会

梶田理事長：就任挨拶と運営会議メンバーの紹介

2. 報告事項：矢野総務担当理事

- ① 2023年度（第69回）仁科記念賞候補推薦依頼の記事をHPに掲載するとともに、有識者に推薦依頼メールを配信した。物理学会の会誌とHP、応用物理学会のHPへの記事掲載を依頼済み。
- ② 6月5日13:00~14:00、オンラインにて第13回定時評議員会を開催。1) 令和4年度事業報告書および決算書が承認され、2) 次期評議員の選任 3) 次期理事および監事の選任 4) 会計監査人の選任が、理事会案の通り承認された。議事録はHPに公開済み。
- ③ 6月6日18:30~19:00、オンラインにて第43回理事会を開催。1) 代表理事（理事長）として梶田隆章理事を選任。2) 業務執行理事（常務理事）として早野龍五理事、藤川和男理事、矢野安重理事を選任し、3) 矢野安重常務理事を常勤とすることとした。4) 新運営諮問委員として、櫻井博儀委員、永長直人委員、村尾美緒委員、中畑雅行委員、藤澤彰英委員、森初果委員、松尾由賀利委員が選任され、永長直人委員を委員長とすることとした。5) 顧問および助言委員が選任された。議事録はHPに公開済み。
- ④ 6月14日、2023年「仁科記念財団 案内」（電子版）刊行のお知らせを財団関係者（訳350名）に配信するとともに、HPの「出版および史料研究調査」に公開した。6月21日、B5判の冊子110部が仕上がった。
- ⑤ 6月20日、「梶田隆章新理事長就任」のお知らせを財団関係者に配信するとともに、HP

の「ニュース」に公開した。6月22日、**新理事長就任の「挨拶状」が100部**仕上がった。

- ⑥ 6月21日、評議員会議事録、理事会義議事録、評議員の就任・重任承諾書、理事・監事の就任・重任承諾書を以って**司法書士に法人登記を依頼したが、承諾書（原本提出せよ）と本人確認書に不備があると指摘され、現在、悪戦苦闘中。**法務局から登記簿謄本が届き次第、内閣府に報告するとともに、銀行、税務署に理事長交代の手続きを行う。**（矢野常務理事からコメント：次回10月の理事会の前までに、定款中の署名捺印→記名押印の改訂をメール審議の方法で行いたい：添付資料定款抜粋）**
- ⑦ 第10回NAA受賞者、Raju, Suvrat 教授 (Tata Institute) の授賞式および講演会について。**（添付資料にて須藤理事より報告）**

〔運営諮問委員会への諮問事項〕

- ① 2023年度の仁科記念講演会の企画について
- ② 「仁科記念室」の運営について

〔運営諮問委員会〕 議長：**永長直人**

議題 1. 前回議事録（案）の確認（**資料**）

議題 2. ①について **家理事**がこれまでの経過（資料）を紹介し、**早野常務理事**が今年度のテーマと講演者の絞り込みをまとめる。

議題 3. ②について **早野常務理事**がこれまでの議論の経過を説明し、**梶田理事長**が今後の議論の進め方について提案する。**添付資料：仁科記念室現状写真と定款抜粋**

その他 **次回日程**: 原則オンラインとする。何曜日が、皆さん都合が良いか。昨年度は、第**4回**は9月。

3. 閉会、

第 24 条 評議員会は、次の事項を決議する。

- (1) 評議員の選任および解任
- (2) 役員の選任および解任
- (3) 役員の報酬ならびに費用の額の決定
- (4) 定款の変更
- (5) 毎事業年度の事業報告および決算の承認
- (6) 長期借入金ならびに重要な財産の処分および譲受け
- (7) 公益目的取得財産残額の贈与および残余財産の処分
- (8) 合併、事業の全部もしくは一部の譲渡または公益目的事業の全部の廃止
- (9) その他法令またはこの定款に定める事項

(決議)

第 25 条 評議員会の決議は、法令およびこの定款に特に規定するものを除き、議決に加わることのできる評議員の過半数が出席し、出席した評議員の過半数をもって行う。

- 2 評議員および役員を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。
- 3 理事が、評議員会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき、評議員の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 26 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、議長および会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人 2 名がこれに署名捺印しなければならない。

記名押印

第 5 章 役員および理事会

第 1 節 役員等

(役員の種類および定数)

第 27 条 この法人に、次の役員をおく。

- (1) 理事 7 名以上 15 名以内
- (2) 監事 1 名以上 3 名以内
- 2 理事のうち 1 名を代表理事とし、理事長と呼称する。
- 3 代表理事以外の理事のうち、若干名を業務執行理事とし、常務理事と呼称する。

(理事の職務)

第 28 条 理事は、理事会を構成し、この定款の定めるところにより、この法人の業務の執行

(決議)

第 39 条 理事会の決議は、理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき理事の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 40 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、理事長および出席した監事が署名捺印しなければならない。

記名押印

第 6 章 会計監査人

(職務)

第 41 条 この法人に会計監査人をおく。会計監査人は、法令の定めるところにより、第 12 条第 1 項の財産目録等の監査を行い、会計監査報告を作成する。

(選任)

第 42 条 会計監査人は、評議員会において、監査法人または公認会計士の中から、選任する。

(任期)

第 43 条 会計監査人の任期は、選任後 1 年以内に終了する事業年度に関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

(解任)

第 44 条 会計監査人が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、または職務を怠ったとき
- (2) 会計監査人としてふさわしくない非行があったとき
- (3) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、またはこれに堪えないとき

(報酬等)

第 45 条 会計監査人の報酬等の金額は、監事の同意を得て、理事長がこれを定める。

(責任限定契約)

第 46 条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 198 条において準用する同第 111 条第 1 項の会計監査人にかかる責任について、当該会計監査人が職務を行うにつき善意でかつ重大なる過失がないときは同第 113 条第 1 項の規定による最低責任限度額

仁科アジア賞授賞講演会案 (2023/06/07)

2023 年 8 月 26 日 (月)

仁科財団 主催、東京大学物理学教室 共催

13:30-14:00 授賞式 司会 磯暁 KEK 教授

梶田隆章 仁科財団理事長 挨拶

(仁科財団および仁科アジア賞の紹介)

佐々木節 仁科アジア賞選考委員長

(選考過程と受賞者の簡単な紹介)

受賞者への賞状授与

受賞者挨拶

14:00-15:00+ 受賞講演 司会 松尾泰 東京大学物理学教室教授

(60 分を目安とするが、20 分程度の質疑応答を含めて必要であれば延長しても良い)

Prof. Suvrat Raju (International Centre for Theoretical Sciences, Tata Institute of Fundamental Research)

Holography of information, gravitational constraints and black-hole evaporation

A theory of gravity localizes quantum information differently from nongravitational quantum field theories. This effect, called the holography of information, arises as a consequence of the gravitational constraints. A precise version of this property can be established using an asymptotic analysis while making only weak assumptions about the ultraviolet completion of the low-energy theory. For simple low-energy states, this property can also be studied in perturbation theory. I will describe how holography of information is manifested in asymptotically anti-de Sitter space, asymptotically flat space, and asymptotically de Sitter space. I will also discuss implications for evaporating black-holes and show how accounting for this feature of gravity leads to a resolution of several puzzles.

確認事項

- 1 上記のプログラム（挨拶、司会者）で良いか
- 2 当日、講演会前後にお茶等の準備などは不要か
- 3 物理教室談話会としての簡単なチラシは準備できるが、それ以外に財団側でポスターを作成するか

公益財団法人 仁科記念財団
第2回 運営諮問委員会 議事録（案）

日 時：2023年5月16日（火）18:00~19:30

形 式：WEB会議（by Zoom）

出 席：

運営諮問委員（委員現在数6名）出席者5名：

早野龍五、櫻井博儀、須藤靖、永長直人、初田哲男

理事：

小林誠、家泰弘、藤川和男、矢野安重、安藤恒也、伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、
佐々木節、十倉好紀、永宮正治

監事：

荒船次郎

オブザーバー：

秋光純、西村純、山田作衛

事務局：

松林孝昭

1. 〔理事長・事務局等報告〕

- ① 5月16日17:30より第42回理事会が開催され、①令和4年度事業報告書案および決算書案と
②理事会から評議員会に推薦する次期評議員、理事、監事、会計監査人を承認し、これら
を、6月5日に第13回定時評議員会を招集して諮ることとした。
- ② 第10回NAA受賞者、Raju, Suvrat 教授（Tata Institute）の来日スケジュールがほぼ決ま
った。担当は、磯暁委員。8月27日（日）：成田着、8月28日：13:30より東大物理教室
1220号室にて授与式—司会（矢野）授与（梶田）受賞業績紹介（佐々木）—と講演。後
日、KEK（講演とレクチャー）、京大（研究会とレクチャー）、9月6日（水）：関西国際
空港から離日
- ③ 2023年度仁科記念賞候補者推薦依頼の記事を物理学会誌掲示板と応物学会HPに掲載依頼
した。6月初めには仁科記念賞候補推薦人の方々に依頼メールを配信する。
- ④ 今後の予定：6月5日13:00~14:00 オンライン 第13回定時評議員会
6月6日17:30~18:30 オンライン 第43回理事会（梶田隆章新理事長）

2. 〔運営諮問委員会への諮問事項〕

- ① 2023年度の仁科記念講演会の企画について
- ② 「仁科記念室」の運営について

3.〔運営諮問委員会〕議長：早野委員長

議題 1. 前回議事録（案）の確認：確認した。

議題 2. ①について：次回第3回運営会議で検討する。

議題 3. ②について：次回第3回運営会議で検討する

4. その他

次回 第3回は、2023 年 6月 26日（月）17:30よりハイブリッドで開催する。

5. 閉会

2023 年度仁科記念講演会のテーマについて

近年の仁科記念講演会

2022 年 スピン流 永長直人、斎藤英治

2021 年 ニュートリノ物理学と宇宙： 梶田隆章、市川温子、石原安野

2020 年 物理学とコンピューティング： 橋本幸士、西森秀稔

2019 年 量子重力： 高柳匡、大栗博司

2018 年 アイソトープで探る宇宙： 三宅美沙、望月優子

2017 年 トポロジカル物質： 川上則男、十倉好紀

2016 年 ニホニウム： 茂山俊和、羽場宏光、山崎敏光

2015 年 一般相対論 100 年： 前田恵一、三尾典克

----- 今年の議論 -----

2022 年度 仁科記念講演会のテーマ & 講師候補

<矢野先生から>

テーマは「放射線と放射性同位元素の生物学利用（案）」で

講師は、1) 中西友子氏 2) 阿部知子氏 です。資料を添付しました。

お二人の研究は両方とも、仁科先生の研究に端を発しています。

ヘベシー（1943 年、放射性同位体のトレーサー利用でノーベル化学賞受賞）

は仁科先生のコペンハーゲン時代の恩師で 1931 年に仁科先生が理研に招聘しました。

⇒ 今回は物性分野で、という意見を踏まえて見送り

<永宮先生から>

あまり強い意見ではありませんが、ずっと過去の歴史をみますと、やはり今回は物性が適切ではないでしょうか？

去年は、量子スピンとソフトマターの候補者が出ていました。もちろんそれ以外の方でもいいとは思いますが、これらの候補者からスタートするのも一案かと思います。

<十倉先生から>

○量子スピン系の物性科学

鹿野田一司（東大・物工） 分子性固体のスピン・電荷のフラストレーションと量子液体・

グラス

松田祐司（京大・物理） キタエフ量子スピン液体とマヨラナ粒子

< 3月の運営会議で挙げたテーマと講演者候補 >

○ソフトマター

土井正男、佐野雅己、田中肇、相田卓三

○スピン流

永長直人、斎藤英治 ⇒ 採択

○近藤効果（近藤淳先生の追悼の意味合いも）

近藤効果の波及、樽茶清悟（量子ドット）、重い電子系

○その他

Anniversary の観点（情報交換）

2022 年は、

重水素、中性子、陽電子等の発見（1932）から 90 年 ⇒ 理研で関連イベントの予定。

液体ヘリウム 3 の超流動発見(1972)から 50 年 ⇒ 8 月の低温物理国際会議でシンポジウムの予定。

ちなみに、2023 年は小林・益川論文(1973)から 60 年。

2023 年講演会の提案

【初田先生からの提案】

過去の講演会記録

<https://www.nishina-mf.or.jp/project/lecture/>

を眺めると Event Horizon Telescope による Black hole の撮像の話は出ていないようなので

<https://www.miz.nao.ac.jp/ehl-j/>

の代表の本間さん

https://www.miz.nao.ac.jp/ehl-j/c/member_list#member

に願ひするのは良いのではないかと思ひました。

宇宙観測の関係で本間さん、データ解析(スパースモデリングなど)の関係で、秋山さんか池田さんというペアで聞くと、宇宙科学と情報科学の両方を black hole をテーマに聞けて面白いかと思いました。

【伊藤公孝先生からの提案】

「量子力学の不確定性、小澤公式とその展開」を思いつき、小澤先生にお話しいただいたらどうだろうかと感じました。ペアとしては、北大の長谷川先生（小澤先生の共同研究者）による 「量子観測限界の実験的探求」とか「小澤不等式の実験的検証へ」

【家】

至ってミーハー的ですが、最近 James Webb 衛星の観測で、宇宙初期の銀河の候補が見つかった(?)という噂があるようなので、誰か解説してくれる人が居ればと思いました。どの程度信憑性があるのかも私にはわかりません。



公益財団法人仁科記念財団 定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人仁科記念財団という。

(事務所)

2年後までに事務所をどこにおくか

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区におく。

第2章 目的および事業

(目的)

第3条 この法人は、故仁科芳雄博士のわが国及び世界の学術文化に対する功績を記念して、原子物理学及びその応用を中心とする科学技術の振興と学術文化の交流を図り、もってわが国の学術及び国民生活の発展、ひいては世界文化の進歩に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、本邦および海外において、次の事業を行う。

- (1) 原子物理学およびその応用に関する研究において、きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与
- (2) 原子物理学およびその応用に関する内外著名研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催
- (3) 原子物理学およびその応用に関する歴史的資料・図書などの発掘・研究・保存・公開の
△
ための仁科記念室の運営
- (4) 原子物理学およびその応用に関する知識および思想の普及啓発のための出版物刊行などの活動
- (5) 原子物理学およびその応用に関する研究において、優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

(事業年度)

第5条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第3章 財産および会計

(財産の構成)

第6条 この法人の財産は、次に掲げるものをもって構成する。